

『可燃性洗浄液』の再生処理を開始！

東大阪に工場を移転し、半年が過ぎました。以降、多くのお客様に、再生処理工場、社屋内を見ていただき、「環境に優しい会社」と大変御好評をいただいております。お蔭様をもちまして、各企業様からも注文を多くいただき、更なる事業拡大のため、『可燃性洗浄液』の再生処理を行うことを計画中です。8月より試験的処理を開始いたします。皆様のご要望に対して、より一層、お答えできるよう、経営努力を惜しまない所存でございます。今後とも皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

社長 大天 勝正



国際グラフに紹介される

(2002年6月号：要約)

5月中旬、野球評論家の川藤幸三氏が当社を訪問、工場や事務所を見学し、大天社長と対談されました。その中で川藤氏の質問に対し

大天社長は、...「新社屋の工場は、最新設備を導入し、機械による処理を中心に各部門ごとに専門スタッフを置いて作業しており、とても清潔で安全な環境です。営業マンに対しては常に事業に関する免許の取得を促し、講習会などの教育を通じて知識を広げるようにと指導しております。今後も社会貢献を考えた提案型の企業として人材育成に力を注いでいくと共に、いずれは一部上場を果たし、リサイクルグループ独自のクリーンで安全な生産環境を実現したいと考えています。」と答えられ、

川藤氏は、...「企業の生産の効率化をも睨んだ社長の産廃処理への思いは社会に欠かせないものですね。これからも理想の実現に向けて活躍されることを期待しています。」と、言われました。



日刊工業新聞に掲載

“可燃性洗浄液を再生”

リサイクルは年内にも切削やプレス加工などの製造現場で使う洗浄液の再生処理を始める。廃液は18%の少量でも受け入れ、中小事業者が利用できるようにする。本社敷地に新しい蒸留設備を設置し、収集許可を持つ全国52自治体の地域からアルコールやシンナーなど可燃性の使用済み洗浄液を受け入れる。設備は廃液を蒸留し、不純物や水分を除去するもので、引火しないよう保護。

(H14.5.30：一部抜粋)

同社は現在、フロンや塩素系のトリクロロエチレンなど不燃性の洗浄液を再生しているが、これらは環境に悪影響を与えるものが多く、今後は需要が減少するとみている。一方、可燃性の洗浄液は引火の危険性から、他社は大型設備で一気に大量処理している。

女子社員の紹介

宮崎から上京、初めての土地で不安でしたが、心地よい環境と良い先輩に囲まれ、楽しく仕事をさせていただいています。入社して、まだ1年ですが、もっと長くお世話になっているような不思議な「縁」を感じています。今後ともよろしくお願ひいたします。

事務 米良こずえ



営業活動の近況

入社して6年になります。近畿、中京、関東で、主として溶剤の販売とリサイクル原料の確保及び情報の入手をしております。昨年ISO 14001を取得し、これを機会に、全国でも有数の収集運搬許可件数を有する当社の売り込みに励んでおります。

来年3月にISO 9001の取得、今年9月に工場増設に向かって進んでいくことになりました。私たち営業社員も一丸となって努力いたしますので皆様方のご支援のほどをよろしくお願ひ致します。

室長 中村 新八郎



事務



松浦 綾

事務



山本 直樹

業務



武富 利幸

平成14年入社

今年、新たに7名入社いたしました。よろしくお願ひいたします。

営業



白濱 隆光

営業



柴田 忍

営業



尾上 浩二

営業



佐々木 義博

編集後記

今回リサイクルニュース4刊目となり、発刊より1年が過ぎました。皆様により新しい情報を提供できるよう更に努力していきたいと思っています。

課長 大天 政輝

栃尾 薫さん退社

先般、皆様にお世話になりました栃尾さんが退社をされました。大変お世話になり、ありがとうございました。



オールマイティにサポートする



株式会社 リサイクル

リサイクルセンター株式会社 株式会社 ダイテック

〒579-8004 東大阪市布市町2丁目1番40号

TEL 0729-80-1390(代) FAX 0729-80-1391